

平成31（令和元）年度 普及活動の結果

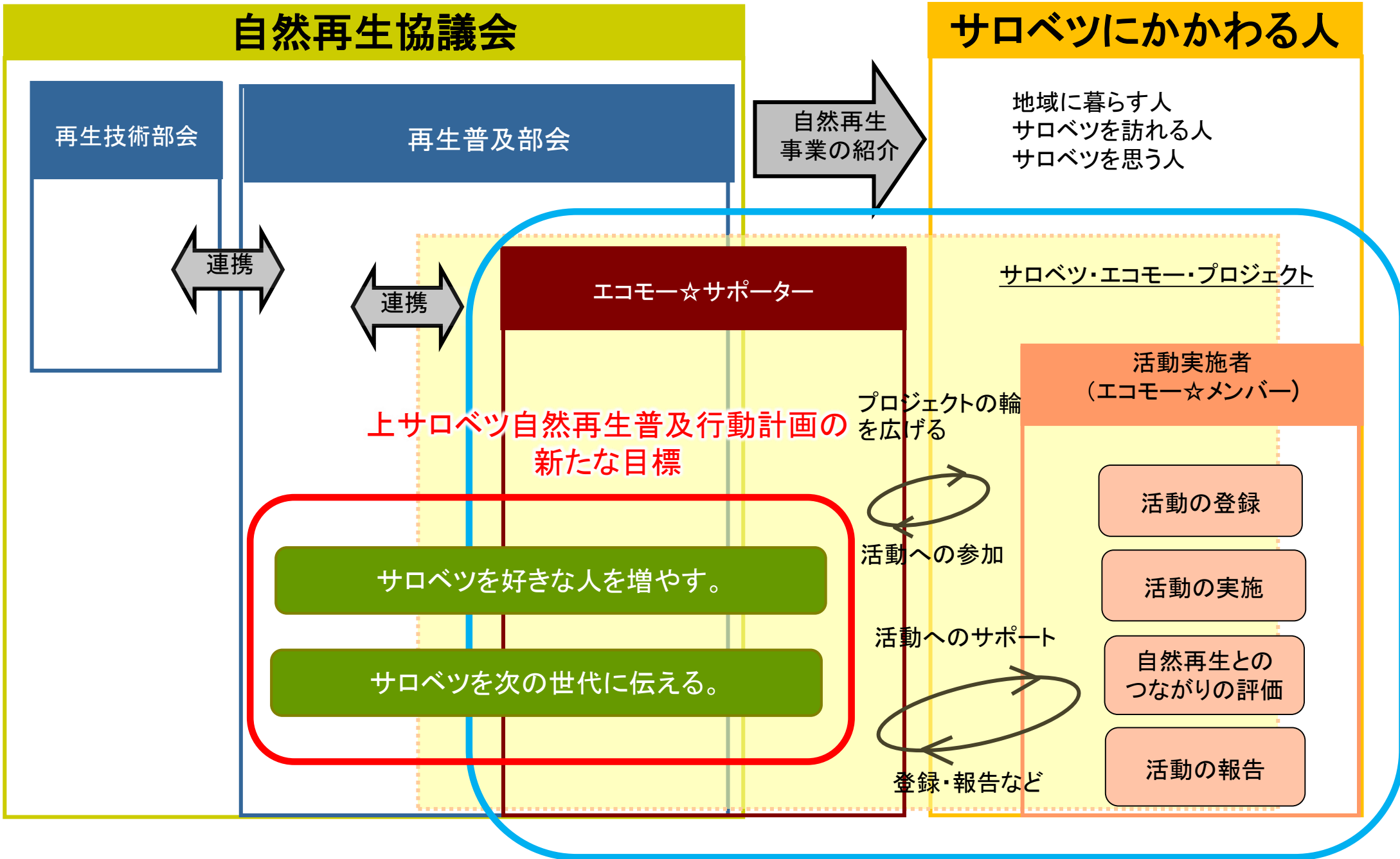


令和元年12月7日

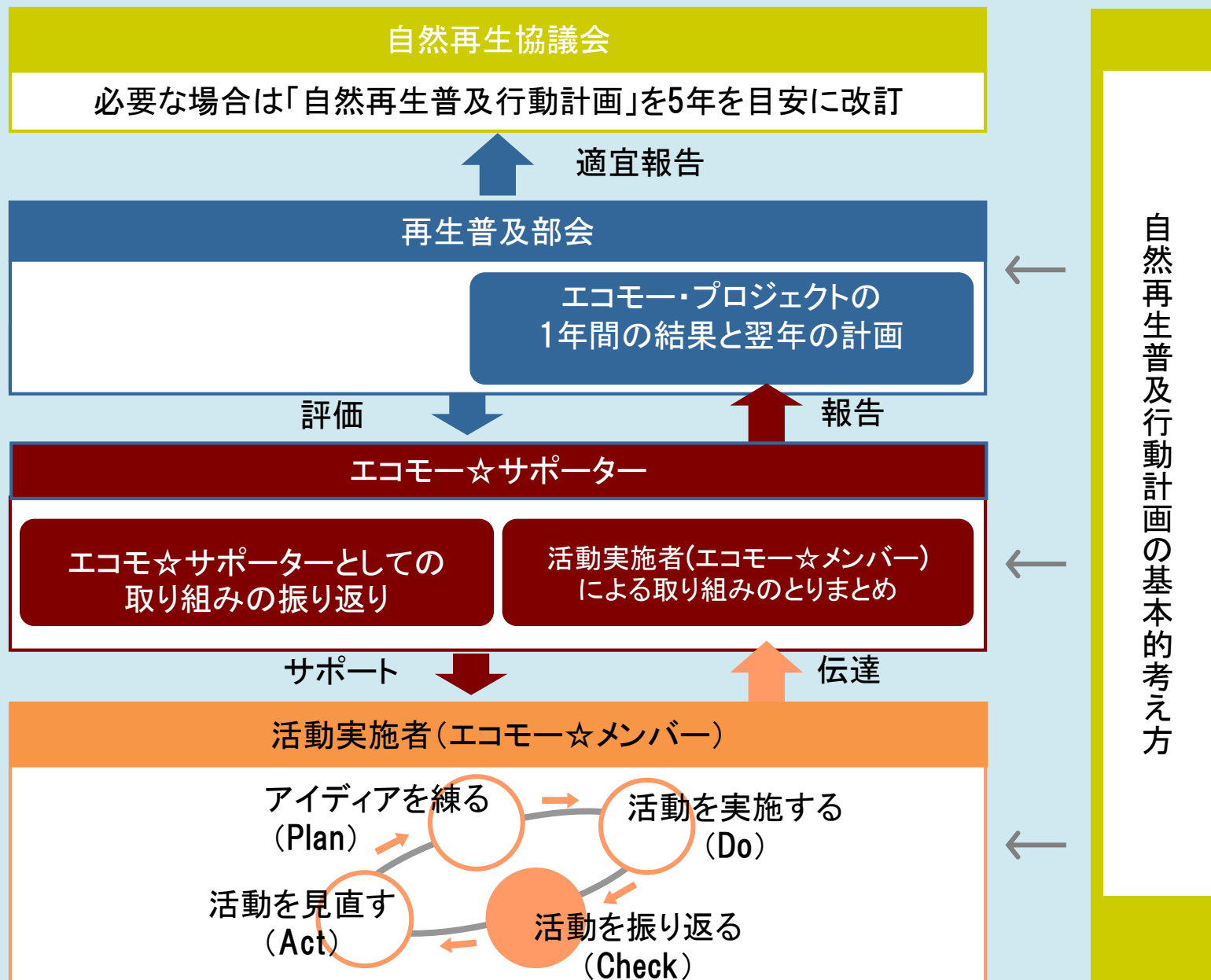
上サロベツ自然再生協議会 第20回再生普及部会

(1) 自然再生普及活動の進め方

自然再生普及活動の進め方



自然再生普及活動の評価・見直しの仕組み



(2) 平成31年度エコモー・プロジェクトのふりかえり



稚味内砂丘林再生活動(サロベツ・エコ・ネットワークほか)



豊富中学校総合学習(北海道開発局ほか)



ゴミポイ捨て防止啓発活動(豊徳地区協議会)



サロベツ・ポニーばん馬大会(東條氏)

NEW



チャリ・テ・秘境駅(幌延エコモビリティを考える会)

NEW



温泉ウォーキング(豊富町地域おこし協力隊)

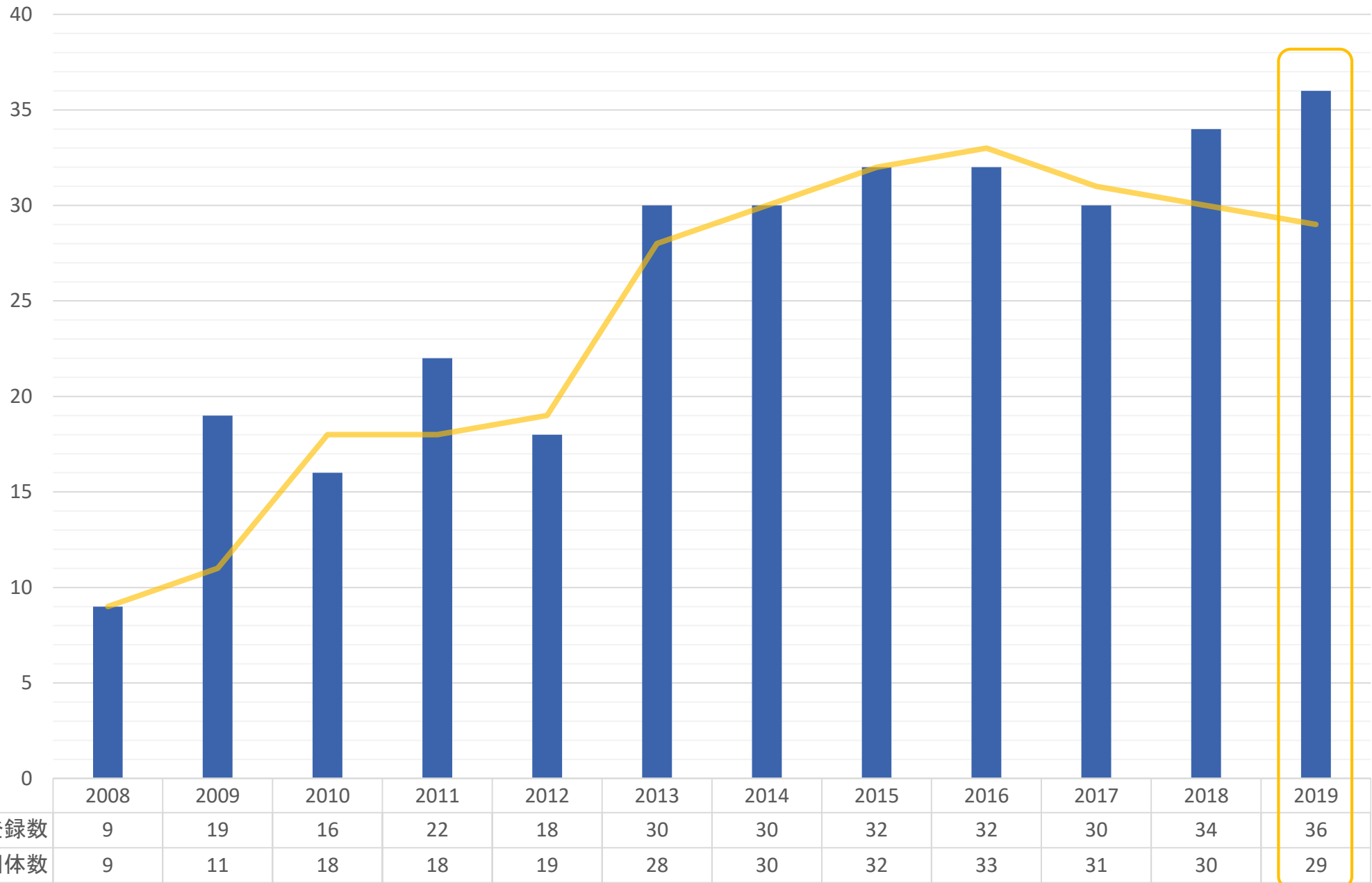


春の稚咲内海岸清掃(サロベツ・エコ・ネットワーク他)

実績

- 今年度は新規で**3件**の登録があった。
- 新規の団体は**1件**の登録があった。

サロベツ・エコモー・プロジェクト 今年度の登録数



(3)年間活動計画からみた振り返り

平成30年度 普及部会及びエコモ－☆サポーター行動計画

【自然再生普及活動の目標】 ①サロベツを好きな人を増やす。

②サロベツを次の世代に伝える。

E☆Sの役割	目標を達成するための取組（実施計画）	
	具体的な取組 (個々の実施計画毎に、別途、目標、実施方法、効果の判定、次回への反省等をまとめる。)	実施の中心者
〈役割1〉 上サロベツ 自然再生に 対する人々 の理解を深 める	自然再生を伝えるイベントを開催する	
	①エコモ－☆パークを開催する	実行委員会 (E☆S+α)
	②エコモ－Dayを開催する	実行委員会 (E☆S+α) (環境省/サロエコ)・・・昨年の場合
	③巡回展の実施	E☆S
	自然再生を伝えるための情報発信	
	①自然再生HP	豊富町役場、各機関
	②SNSやYouTube等を通じた発信	E☆S
	③メンバー一人一人からの情報発信	メンバー
	④「サロベツ自然再生通信」の発行 年4回の発行	協議会事務局
	メディア戦略	
①メディアへの働きかけ	E☆S/E☆S事務局	
〈役割2〉 自然再生に 取り組む人 や団体をつ なげる	エコモ－☆メンバー同士の交流の場をつくる	
	①エコモ－交流会の開催	E☆S
	②エコモ－Caféの開催	メンバー有志
	SNSやネットの活用	
	①メーリングリスト	E☆S事務局
	②FBやLINE等の活用	E☆S事務局
	新たなメンバーの勧誘	
	①イベント時に登録ブースを設ける	E☆S事務局
	②メンバーからの誘い	メンバー
他協議会との交流		
①他協議会との交流と情報の共有(参加者からの報告)	協議会事務局	
〈役割3〉 エコモ－ プロジェクトの推進を 図る	エコモ－プロジェクトの活動支援	
	①運営への協力 会場の提供、広報宣伝の協力、人的協力	E☆S(湿原センター、町施設)
	②活動サポート情報の提供 助成金募集情報、ノウハウなど	E☆S

(3) 年間活動計画からみた振り返り

平成31年度の目標

- ①サロベツを好きな人を増やす
- ②サロベツを次の世代に伝える

< エコモー★サポーターの役割 >

< 役割1 >

- 上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< 役割2 >

- 自然再生に取り組む人や団体を繋げる

< 役割3 >

- エコモープロジェクトの推進を図る

<役割1>

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

<具体的取組>

- ①自然再生を伝えるイベントを開催する
- ②自然再生を伝えるための情報発信
- ③メディア戦略

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< ①自然再生を伝えるイベントを開催する >

○エコモーターパークを開催する

○エコモーターdayを開催する

成果・結果

- エコモーターパークは、例年開催されていたホッキ祭りが中止になったため、開催せず
- エコモーターdayは前年度に引き続き実行委員会形式で開催。（実行委員会は6月下旬に立ち上げ）
- 開催日：9/7（土）、10：00～15：00
- 来場者数：470名（※参考前年161名） ※エコモーターとしては過去最高
- 豊富町の新規イベント「サロベツ★らぼ」（豊富町観光協会主催）と同日開催。

- ➡
- 観光協会主催のイベント同時開催により、屋外が賑わっていた来場者数も過去最高に達した。
 - 講演会も酪農関係の話も聴けてよりエコモーターらしくなった

サロベツ・エコモーターdayでは、漁業と農業の共生を目指す「自然再生事業」が行われており、サロベツ・Dayとは？ エコモーターDayは「湿原」と「酪農」の共生をテーマとしたイベントです。

～サロベツの自然と農業を満喫する1日～

サロベツエコモーターDAY

9/7(土) 10:00-15:00

開催場所：サロベツ湿原センター レストハウスサロベツ

主催：サロベツ・エコモーターDAY2019実行委員会
協力：豊富町観光協会、豊富町環境課、豊富町農林課、豊富町酪農課、豊富町水産課、豊富町福祉課、豊富町健康課、豊富町子育て支援課、豊富町高齢者福祉課、豊富町障害者福祉課、豊富町生活福祉課、豊富町社会福祉課、豊富町文化福祉課、豊富町スポーツ福祉課、豊富町観光協会、豊富町商工会、豊富町農協、豊富町酪農協、豊富町水産協、豊富町福祉協、豊富町健康協、豊富町子育て支援協、豊富町高齢者福祉協、豊富町障害者福祉協、豊富町生活福祉協、豊富町社会福祉協、豊富町文化福祉協、豊富町スポーツ福祉協

お問い合わせ先：サロベツ湿原センター TEL：0162-82-3232

サロベツ・エコモーDay

サロベツ・エコモー サロベツでは、湿原と農業の共生を目指す「自然再生事業」が行われており、サロベツ・エコモーDayとは？ エコモーDayは「湿原」と「農業」の共生をテーマとしたイベントです。

～サロベツの自然と農業を満喫する1日～

サロベツエコモーDAY

9/7(土)
10:00-15:00

※雨天時は、室内イベントのみ実施します。
※雨天イベントは、はしご車乗車は14時まで、また、はしご車、はしご車、はしご車、はしご車のアロマ制作は別途販売です。

開催場所 サロベツ湿原センター
レストハウスサロベツ

自然再生パネル展 & クイズラリー
クイズに答えて
豊富産ヨーグルトをGET
※先着順!!

**はしご車の上から
湿原を眺めてみよう**
たかーい！
鳥たちの目線を味わえる!!
秋の火災予防運動PR

**地元小学生の
無料木道ガイド**
発見と驚きがいっぱい☆

**豊富町産生クリームで
バター作り体験!!**
自分で作るからおいしい倍増!

**湿原の香りで
アロマ香油作り**
参加料 500円

**エコモーDay
講演会&座談会**
～つなぐ、つながる農業、
そして地域づくりへ～
講演：山本 寿昭 氏
(サロベツ農事連絡会 議長)
豊富牛乳公社 様
14:00～14:30
豊富町の開拓の歴史や農業と湿原の共生
地域で育む酪農についての話を聞いてみよう
14:30～15:00 (座談会)
座談会では、豊富町の未来についてみなさんと話
し合ってみましょう

はしご車展望
※『サロベツ★らほ』も同日開催のため、混雑時は、
町民センターの臨時駐車場より出発するシャトルバスをご利用
いただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催：サロベツ・エコモーDAY2019実行委員会
協力：サロベツ自然再生協議会、豊富町、豊富町観光協会、豊富町観光協会、JJA北信越・同青年部豊富支所、豊富町農業交番、
(株)豊富牛乳公社、北信越農業高等学校、サロベツマイハート

お問合せ先：サロベツ湿原センター TEL：0162-82-3232

9月7日(土) 10:00～15:00
サロベツ湿原センター

【開催内容】

- ・自然再生パネル展&クイズラリー
- ・浚渫船解説ツアー
- ・地元小学生の木道ガイド
- ・豊富産生クリームを使ったバター作り体験
- ・湿原植物をイメージしたアロマ香油作り体験
- ・講演会&座談会
- ・ハーベスタ展示
- ・牧草ロール&牧草ベッド展示
- ・はしご車展望

サロベツ・エコモ－Day(屋外)

地元小学生による木道ガイド



ハーベスタに乗ってみよう(JA北宗谷)



サロベツ・エコモーDay(屋外)

牧草ロール&ラップサイレージ展示(JA北宗谷青年部)



牧草(乾草)ベッド展示



サロベツ・エコモーDay(屋外)

はしご車から湿原を眺めてみよう



元浚渫船操縦士によるガイドツアー



サロベツ・エコモーDay



はしご車からの景観

サロベツ・エコモーDay(屋内)

自然再生パネル展&クイズラリー



アロマ香油づくり体験



バター作り体験



サロベツ・エコモーターDay(講演会 & 座談会)



山本議長(サロベツ農事連絡会議)



藤原社長(豊富牛乳公社)



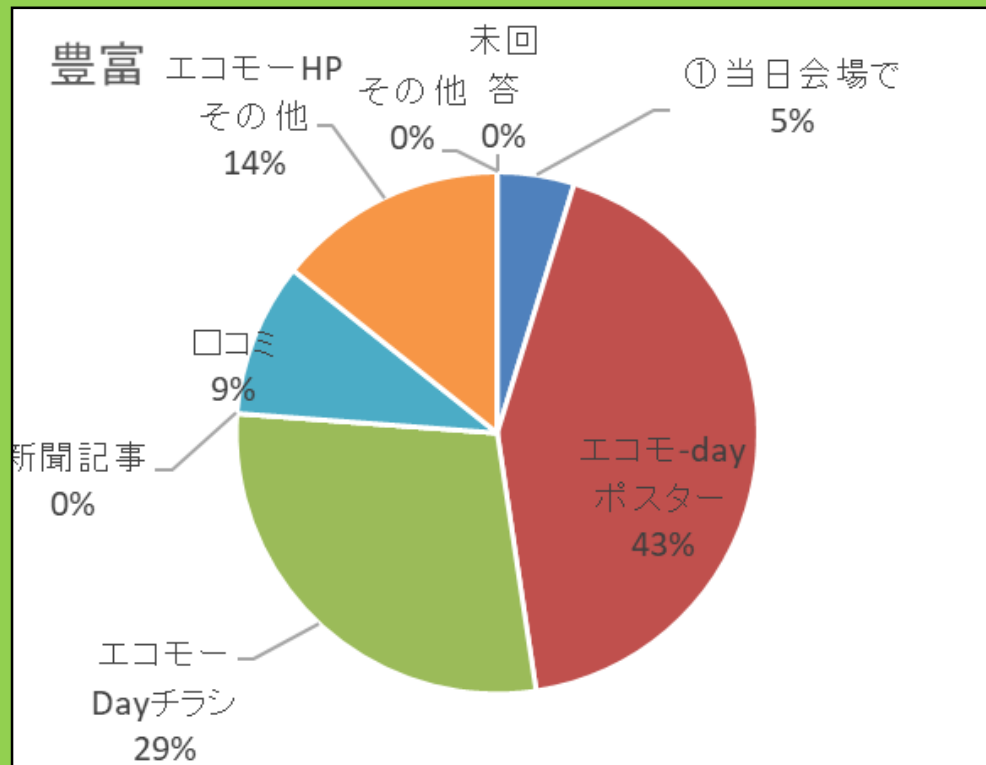
豊富高校ボランティア部

サロベツ・エコモーDay

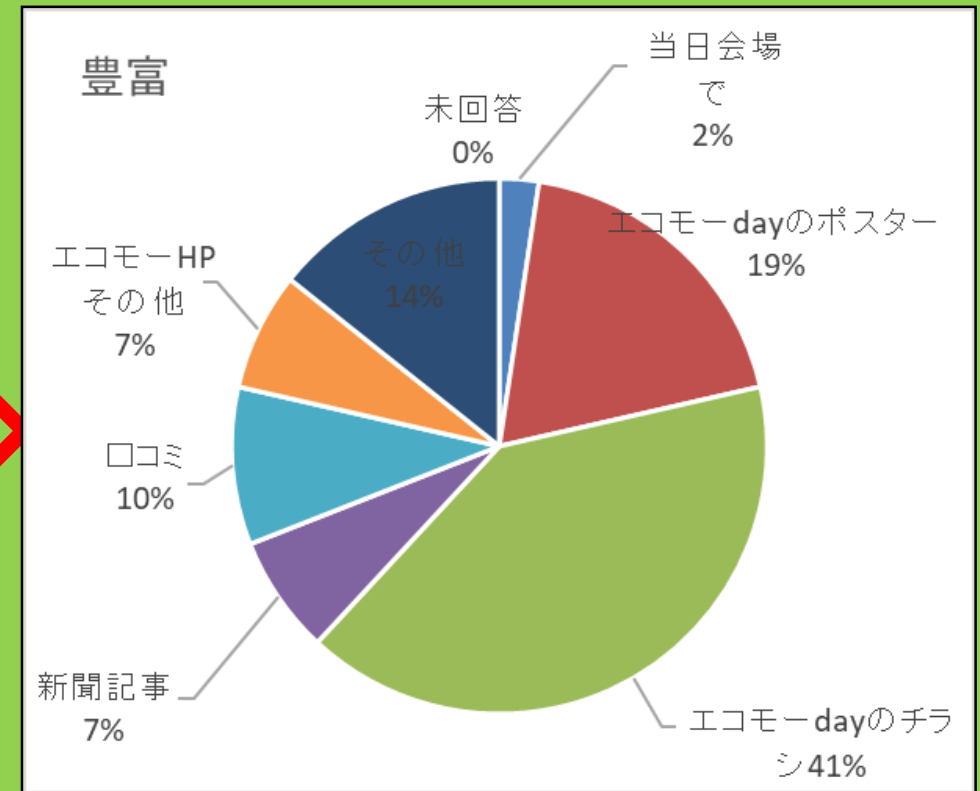
アンケート結果（来場者470人、回答者83人）

《問：エコモーdayについて何で知りましたか？》

(2018)



(2019)



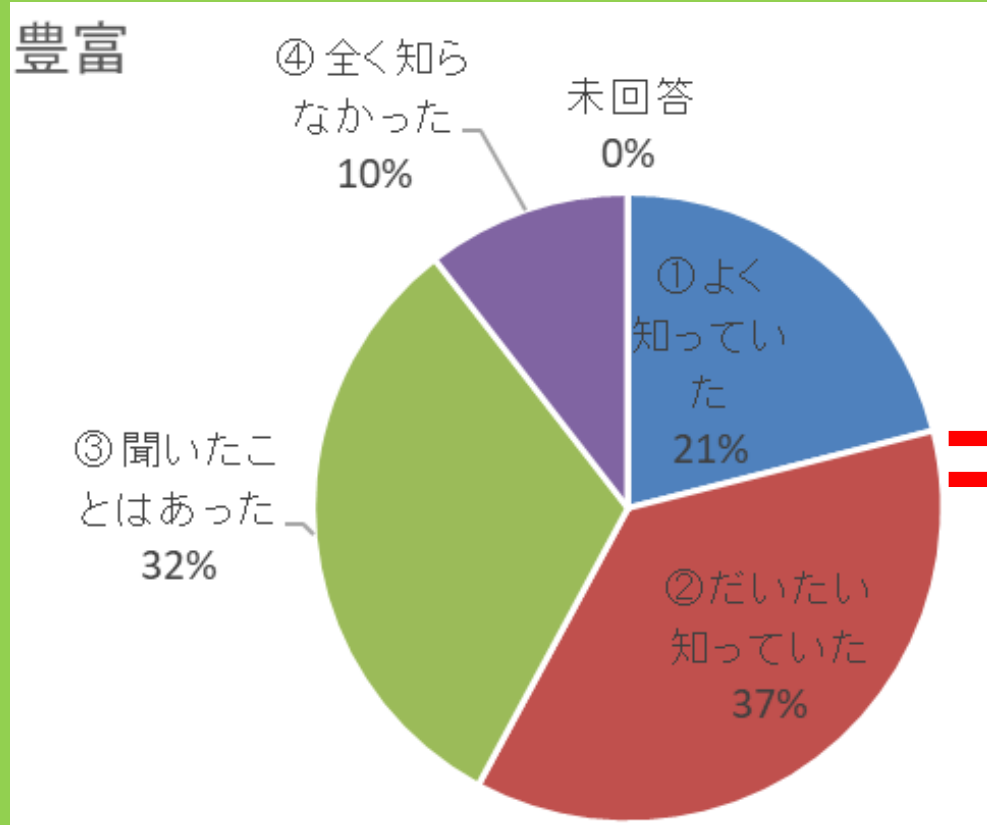
➡ 豊富町内に関してはチラシ、新聞が増加する一方、ポスター、HPが減少傾向

サロベツ・エコモーDay

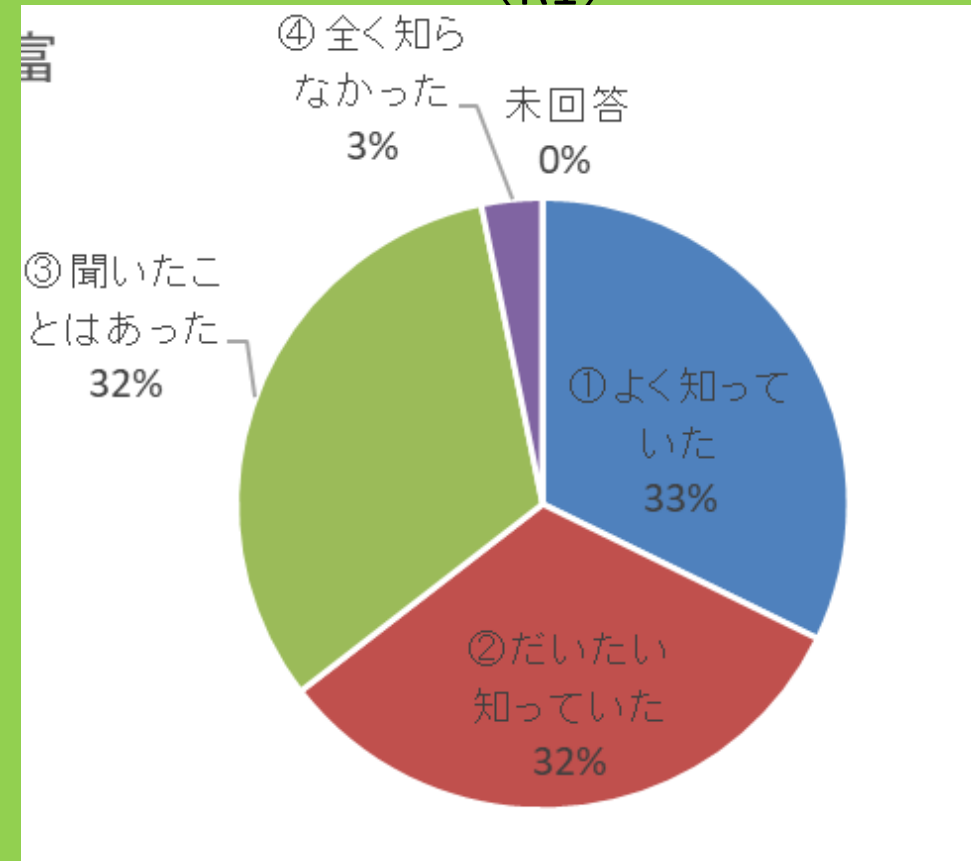
アンケート結果（来場者470人、回答者83人）

《問：サロベツで自然再生に向けた取り組みが行われていたことはご存知でしたか？》

(H30)



(R1)



- 豊富町に関しては昨年に比べ、「④全く知らなかった」減少している
- 「①よく知っていた」が増加

サロベツ・エコモーDay

アンケート結果

その他の感想

- この地域で酪農してたのに自然再生事業をしていることを知らなかった。もっと勉強して、湿原にも酪農にも良い方向に行くように協力していきたいです。
- ササが増えていて、元々の植物が減っているというのは知っていたが、湿地の回復など様々な取り組みがされているとは知らなかった。これからは関心を持って見ていきたい。
- 浚渫船ガイドがとても良かったです。出来れば船内に入りたかった！
- 湿原と農地が共生できるような工夫がされていることに感動しました。
- サロベツ自然再生事業をこのようなイベントとしてやることで興味を持てると思うので、続けていけらたいと思う。

サロベツ・エコモ―Day



サケのちゃんちゃん焼きなどに人気が集まった「サロベツ☆らほ」

サロベツ 自然と食満喫

豊 湿原センターでイベント

【豊富】町の特産品やサロベツの魅力を紹介するイベント「サロベツ☆らほ」(実行委主催)と、サ

2019年9月8日
北海道新聞

ロベツ湿原で行われている自然再生事業を紹介する恒例の「サロベツエコモ―Day」(実行委主催)が7日、サロベツ湿原センターで同時開催され、家族連れなど大勢の人たちが地元の名産と自然を満喫した。

初めて開催した「サロベツ☆らほ」の目玉は飲食コーナー。エソシカの串カツ

をはじめ、豊富牛乳を使ったプリンやアイス、サケのちゃんちゃん焼きなどに人気を集めた。豊富温泉の「手湯コーナー」では、日本で唯一、石油成分が含まれる珍しい泉質に触れ、驚く人が多かった。

「エコモ―Day」は高さ15センチの車からの湿原展望が子どもたちに人気

だった。かつて湿原で泥炭を採掘し、現在は同センター屋外に展示されているしゅんせつ船の歴史を解説するツアーも行われた。「泥炭は土壌改良材に使われていた」などと説明を受けるなど、参加者は「へえー」と感心し、船の仕組みや操縦法などを熱心に質問していた。(福田謙平)

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< ①自然再生を伝えるイベントを開催する >

○エコモーパークを開催する

○エコモodayを開催する

課題（主要な物）

- 今年はエコモーパークが実施できなかった事でPRの機会が減った
- エコモodayのクイズラリーが毎年参加してくださる方にとってはマンネリ化しているのでは
- 自然再生事業の紹介が見えづらくなっている気がする。
- 来場者が過去最高だったのに対し、屋内は盛り上がりは今ひとつだった。（誘導策を充実させる）
- 各企画が詰まっており、余裕がなかった印象。今後は各企画の開催時間は検討

今後に向けて

- エコモーパークの代わりとなるような自然再生や関係者の取り組みなど知ることできるような機会を設けるよう検討したい。
- 事業の普及という面においては、各事業地の見学会なども開催したほうが伝わりやすいのでは。
- 地域で活動している出店団体の協力を得ながら、サロベツらぼとの連携は継続して良いと思われる。

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< ②自然再生を伝えるための情報 >

- 自然再生HP 再生通信の発行
- SNSを通じた情報発信
- メンバー・団体からの情報発信
- エコモープロジェクト活動紹介の展示

成果・結果

- ・自然再生通信は年4回発行予定。残り3回の予定
- ・エコモー公式HPやFacebookを通じて、地域で行われる活動や登録団体の情報を発信した。また、関係機関からも随時情報発信を行った。

→【発信回数】サロエコ（エコモー）：23回、開発局：11回、環境省：15回（9月末時点）

- ・活動パネル展を定住、湿原センター、幌延VCなどで開催し、報告集120部は全て配布
- ・過去の報告集をエコモーHPでも掲載（2009,2011,2012, 2016~2018）



※開発局HPより

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< ②自然再生を伝えるための情報 >

- 自然再生HP 再生通信の発行
- SNSを通じた情報発信
- メンバー・団体からの情報発信
- エコモーフプロジェクト活動紹介の展示

課題（主要な物）

- ・ホームページ（役場協議会HP,エコモーフHP）の閲覧場所が各機関で相互にリンクできるようになっていない。
- ・細かな発信があまりできておらず、情報発信の効果があるのかどうかが見えづらいのが難点
- ・発信内容の共有やシェアなどができていない。
- ・活動パネル展示は現時点では見る人も限られる為、新たな展示場所などを検討の要あり。

今後に向けて

- ・メンバー自身からの発信が厳しければ事務局から発信できる旨を周知し、情報提供の強化
- ・活動紹介展示は近隣市町村のほか都市圏でも実施できるよう、検討していきたい。
- ・引き続きエコモーフHPでの掲載を実施すべく情報収集とメンバーへの情報の提供依頼を行う。
- ・役場のHPにおける協議会の掲載箇所が目につきづらいので、関係機関でリンクを張り簡単にアクセスできるよう調整したい。
- ・まずは関係者や機関同士で情報共有の徹底を図る。
- ・SNSによる発信の継続と新たな利用者層への普及啓発。

上サロベツの自然再生に対する人々の理解を深める

< ③メディア戦略 >

○メディアへの働きかけ(新聞社・地元ラジオ局など)

成果・結果

- ・事務局からは新聞各社に一斉発信を行い、サポーターからも地元ラジオ局への情報提供を行った。
- ・どんぐりグリーンや春の海岸清掃等のイベントでは取材があり、新聞でも掲載された。

課題(主要な物)

- ・当日のみの取材だけでなく事前の周知の意味の取材等をしていただけるようになるとうい。
- (サポーター・プロジェクトの取材など)



今後に向けて

- ・一斉発信の継続。
- ・イベントなどの周知方法の強化。
- ・テレビ局などにも情報周知すること等も検討
- ・イベントのほか、エコモーププロジェクト自体を取材していただけるようにしていきたい。

<役割2>

自然再生に取り組む団体を繋げる

<具体的取組>

- ①エコモー☆メンバー同士の交流の場を作る
- ②SNSやネットの活用
- ③新たなメンバーの勧誘
- ④他協議会との交流

自然再生に取り組む人や団体を繋げる

< エコメンバー同士の交流の場を作る >

○エコモ-交流会の開催

○エコモ-caféの適宜開催

成果・結果

・エコモ-交流会 は各団体の発表+懇親会形式で開催し、報告会後の懇親会では、豊富高校さんよりお菓子の提供もしていただいた。

・題が「交流会」だと一般向けの感じを受けないため「活動発表会」へ名称を変更。

【開催日時】：12/7（土）、10：00～12：00

【発表団体】：なまらサロベツ∞クラブ、豊富高校ボランティア部、サロベツエコネットワーク
サロベツでのびのび育てるママの会、**豊富町地域おこし協力隊←新規登録**

【会場展示】：伝承の会、幌延エコモビリティを考える会、豊富高校、カムイモデルズなど

・交流会が縁でメンバー同士が繋がった例がある。

・エコモ-caféは12/15（日）13：00～15：00

湿原センターにて開催予定（羊毛フェルト体験会）

令和元年度 エコモ-☆Café

もふもふ、羊毛フェルト体験
シマエナガストラップをつくろう！



12月15日（日）13:00～15:00

場 所	サロベツ湿原センター
参 加 費	700円（フェルト材料費等）
定 員	5名（先着申込み順となります） ※電話、FAX、メール等で申込み下さい。 お申し込みいただいた個人情報（氏名、連絡先）は、開催にあたってのご連絡以外に使用されることはありません。
講 師	Kamuy Models（カムイモデルズ） 榎田 氏 （サロベツ・エコモ-プロジェクト活動者）
そ の 他	体験中、コーヒー準備します。マイカップ持参ください。 また、ジブリのウクレレ演奏聞けるかも・・・

企画・お問い合わせ：エコモ-☆サポーター 有山
（環境省管内自然保護官事務所内）
TEL：080-1880-0017 FAX：0162-33-1101
E-mail：RO-WAKKANAI@env.go.jp

自然再生に取り組む人や団体を繋げる

< エコメンバー同士の交流の場を作る >

○エコモ交流会の開催

○エコモcaféの適宜開催

課題（主要な物）

- 活動メンバーの新規登録数の増加に向けた取組を検討する必要がある。
- 交流会での発表の引き受け手が少ない（今回は発表依頼15団体、承諾は5に限られていた。）
- 交流会の実施内容を再度検討する時期になってきている（メンバーが気軽に参加できるような）
- 実際に新規登録の依頼を行える期間が短い（実質依頼に行けるのは往々にして、10月以降）

今後に向けて

- 新規で登録していただけたような団体への参加依頼を継続して行う。
- メンバーの交流が目的なので、気軽に参加できるような企画を検討

※具体的には今後のサポーター会議の中で検討していきます。

自然再生に取り組む人や団体を繋げる

< SNSやネットの活用 >

- メールリスト、HP、FBを活用する

< 新たなメンバーの勧誘 >

- メンバーからの誘い

< 他協議会との交流 >

- 他協議会との交流と情報の共有を図る(参加者からの報告)

成果・結果

- ・ エコモ-関係者へのMLを用いて、イベント情報や登録メンバーの活動情報などを随時発信した。(計15回)
- ・ MLを見て参加した例もあった。
- ・ 新たなメンバーの勧誘はHPやMLでも案内を流したほか事務局を中心に随時勧誘を行った。
→新規団体は1件(豊富町地域おこし協力隊)
- ・ 令和元年6月、上サロベツ自然再生協議会でサロエコから
 去年の全国会議(静岡県)へ参加した旨を報告
- ・ 令和元年9月、自然再生全国会議開催(山口県) サロエコ1名参加。



サロベツエコモ-プロジェクト
上サロベツ自然再生協議会

お知らせ

【案内】エコモ-☆メールリストに入りませんか?

お知らせ
記事作成日: 2017.7.16
担当: 管理者

今年度からエコモ-プロジェクト関係者のメールリストをはじめました。
もちろん、活動に興味のある一般の方も登録可能です。

各団体のイベントのお知らせ等が届きますので、
登録希望者はエコモ-事務局まで氏名とメールアドレスをご連絡ください。

<エコモ-事務局>
ecomo@sarobetsu.or.jp

イベント
トピックス
2018
2017
2016
2015
2014
2013

各種ダウンロード
DOWNLOAD

サイトマップ
SITE MAP

お問い合わせ
CONTACT

※サロベツ・エコモ-・プロジェクト
ホームページより

自然再生に取り組む人や団体を繋げる

< SNSやネットの活用 >

○メールリスト、HP、FBを活用する

< 他協議会との交流 >

○他協議会との交流と情報の共有を図る(参加者からの報告)

< 新たなメンバーの勧誘 >

○メンバーからの誘い

課題(主要な物)

- MLの発信は事務局からのみに限られる。
- 本来はメンバー自身が活動を告知してもらうために設けたが、自らの発信はできていないのが現状
- 新規メンバーの勧誘はほとんど実施できていない。
- 全国会議への参加が現時点では参加がサロエコに限られている。

今後に向けて

- MLはメンバー同士の相互発信がないので、気軽に自身の活動などについて引き続き投稿できるよう呼びかけを行う。
- メンバー自身からの発信が難しい場合は可能な範囲内でメンバーの活動情報を収集し随時配信する
- サポーター同士で活動情報などの情報共有を図る。
- 他協議会との交流に関しては、サポーターのほか協議会メンバーにも参加していただけるようにしたい

<役割3>

エコモーブプロジェクトの推進を図る

<具体的取組>

- ①エコモーブプロジェクトの運営への協力

エコモーブプロジェクトの推進を図る

<エコモーブプロジェクトの活動支援>

○運営への協力

○活動サポート情報の提供

成果・結果

- 運営への協力は少数ながら実施（会場提供含む）
例：ばん馬大会のポスター作成、活動告知、運営補助など、さろママやオバパワーの活動補助
- 各活動の告知も行った。
- サポート情報の提供は実施できていない。



広報・運営補助(8月ポニーばん馬大会)



広報・運営補助
(4月オバパワークラブ木道観察会)



会場提供(豊徳地区協議会ポイ捨て防止活動)

エコモープロジェクトの推進を図る

<エコモープロジェクトの活動支援>

○運営への協力

○活動サポート情報の提供

課題（主要な物）

- 運営のサポート面では、より多くの団体にも声かけされるよう周知を行う
- サポート情報の提供は実施可能な項目をまとめておく必要があるが、現状できていない。

今後に向けて

- サロベツらぼ等へのサロベツ湿原センターの会場提供
- さらなる地元活動団体への協力
- サポート情報であれば、各地の活動事例(助成金を使った例)などを集めて、イメージしやすいよう周知する。
- 報告集やMLなどに関係機関の助成金の活用事例などの記載も検討する。
- ノウハウや助成金情報などに限らず、何が今のメンバーの需要に合うのかを把握することが必要では？その中で人員や金銭などの具定例があればその都度協力できれば良いのでは？